

(別添4)

## 【南城市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「令和の日本型学校教育」の構築を目指した中央教育審議会の答申（令和3年1月）及びそれに続く政府の議論等においては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることが求められている。変化の激しい時代の中で生きていくためには、生涯にわたって自ら学んでいくことが必要となる。本市では、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワーク環境を活用することで「生涯にわたって自ら学びを進めていくことができる児童生徒の育成」を目指している。そのため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク環境を実現することにより、ICTを様々な学習場面で効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から、教育の質を向上させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。

#### 2. GIGA第1期の総括

1人1台端末の整備については、令和2年度から着手し同年度中に整備率100%を実現した。また、1人1台端末の整備と併せて校内ネットワーク環境の整備を進め各教室から通信が可能な環境を整えた。環境整備に伴い小学校低学年では端末へのログインやキーボード入力、カメラ撮影等の技術を習得し高学年から調べ学習やGoogleスライド、ドキュメント、スプレッドシート、ジャムボード等の標準機能を活用しレポートの作成や協働的な学びに取り組む場面も多く見られた。Web学習ソフトの活用もあり家庭学習で活用される場面も見られ個別最適な学びが実現されている。さらに、希望する不登校児童生徒に対して、リアルタイムで授業の場면을配信する等、1人1台端末を活用した学びの保障についても取組が進んでいる。明らかになった課題としては、端末が故障した時の対応がある。新たな端末の整備が進むまでの間、予備機で対応するが予備機が無くなり新たな端末の整備にも長い時間がかかる等、予備機が不足する状況も見られた。GIGA第2期では、十分な予備機を整備することで、この課題を解決していく。また、学校間や教師間でもICT機器を活用した指導力に差が生じている状況が見られることから1人1台端末と通信ネットワークを活用した学びの実践に関しても、ICT支援員による研修会や実践のサポートを進め意識と技術の向上を図る。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

十分な予備機を含め、端末を適切に更新し1人1台端末環境を引き続き維持することを前提とし、以下のように利活用していく。

(1)「1人1台端末の積極的活用」 授業や家庭学習、学校・家庭間の連絡等、様々な場面でオンラインを活用した1人1台端末活用を維持する。

(2)「個別最適・協働的な学びの充実」 端末を活用した学習課題への取組により、理解度や学習進度、興味関心等に合わせた個別最適な学びを進める。また、「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」という授業場面に応じた端末の活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

(3)「学びの保障」 不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等に対して、その実態に応じて端末を活用した支援を実施する。